



真宗大谷派旭川別院

旭川別院だより

夏号
2024

発行所 真宗大谷派 旭川別院
輪 番 太田 法生
〒070-0030 旭川市宮下2丁目
TEL.0166-22-2409
FAX.0166-22-2411

■印刷:植平印刷株式会社
■旭川別院ホームページ

旭川別院 | 検索

南無阿弥陀仏

人と生まれたことの意味をたずねていこう



帯広市 大昭寺住職 中野 誠 二

慶讃法要のテーマについて

今号から三回にわたって、二〇二三年の春に東本願寺で「宗祖親鸞聖人御誕生八百年・立教開宗八百年慶讃法要」が勤まった際に掲げられたテーマ、「南無阿弥陀仏」と生まれたことの意味をたずねていこう

南無阿弥陀仏 — 仏からの呼びかけ —

「南無阿弥陀仏」とは言うまでもなく念仏のことですが、親鸞聖人はその念仏をどのようなにいたただかれたのでしょうか。『教行信証』『行巻』の冒頭に、次の言葉が記されています。

諸仏称名の願

浄土真実の行 選択本願の行

（真宗聖典 第二版一六九頁（初版一五六頁）

〇一二年には、「今、いのちがあなたを生きている」のテーマのもと、「宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要」が勤まりました。第一期法要を中止とし「被災者支援のつどい」として開催された、今でも忘れられない法要です。そして、昨年勤まった慶讃法要のテーマが「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」でした。この五十年間の法要のテーマを比べてみると、今

生を救おうと誓われた、はたらきとしての南無阿弥陀仏のことです。つまり、ここでの「行」とは仏のはたらきのことを言うのでしよう。浄土真実、選択本願なる仏のはたらき、それが親鸞聖人のいただかれた南無阿弥陀仏なのです。

生活の中で私たちは、南無阿弥陀仏をどのようににいただいているのでしょうか。振り返ってみると、念仏を称えることによって病気が治ったり、不幸や災いが降りかかったりしないようにする手段として利用してはいませんか。親鸞聖人が師法然上人から教えられた念仏とは、決してそのようなものではないと念仏を称えることには、仏のはたらきとしての「行」です。換言すると、呼びかけや問いかけとも言えるでしょう。つまり、真宗における念仏とは、仏からの呼びかけや問いかけとしての「はたらき」なのでしょう。

出世本懐の願い

では、仏からの呼びかけとは一体何なのでしょう。私は、それがこのたびの慶讃法要のテーマである「人と生まれたことの意味をたずねていこう」ということだと思えます。それは、「一切衆生に「人と生まれたことの意味をたずねていってほしい」という仏の願いです。人と生まれたことの意味が問われているのですから、私たちの「出世本懐」が問われていることになります。ですから、このテーマは、私たち一人ひとりの出世本懐を問うていると言っても過言ではないでしょう。

「出世本懐」とは、「釈尊がこの世に生まれ出た直接の目的」（『佛教語大辞典』）のことです。「出世」とは「仏がこの世界に出現する

こと」であり、「本懐」とは「本意」や「本望」、あるいは「本望の願い」ということです。したがって出世本懐とは、「お釈迦さまがこの世にお生まれになられた本意」という意味になります。基本的には、釈尊という覚者に対して用いられる言葉です。しかし、出世に本懐があることは、何もお釈迦さまに限ったことではありません。これは同時に、我々に対する問いかけでもあるのです。私たちにいつて、この世に生まれ出てきた本懐とは何か、本当の願いとは何かということ。これこそが、このたびの慶讃法要で掲げられたテーマの根幹をなすものだと思います。実は、私たちがにおける仏法聴聞も、この世に生まれ出た本当の意味とは何なのかを聞き、確かめることに本質があるのでしよう。

さらに言うと、この出世本懐とは、何も私も真宗門徒にだけ問われている特別なことではありません。これまでにも、様々な方々がそれぞれの表現をとおして、「人と生まれたことの意味」を世に問いかけてくださっています。その中の一人に、「アンパンマン」の生みの親として知られる、やなせたかし（一九一九年〜二〇一三年）さんがいます。作詞された『アンパンマンのマーチ』の中に、「なんのために生まれてなにをして生きるのか」という問いかけに続き、「こたえられないなんてそんなのはいやだ！」とあります。もし、その問いに自分が何も答えを見付けられないのなら、そんなのは嫌だ、それは本当に悲しいことだとたわれるのです。おそらくは、やなせたかし自身が自分に向けて問いかけた言葉なのだと思います。まさにこの歌は、自身の出世本懐を求める心の叫びとも言えるのではないのでしょうか。

テーマにある「人と生まれたことの意味をたずねていこう」は、仏教の大事な精神です。しかし、先に述べたように、この出世本懐とは何も釈尊に限ったことではありません。人生での苦しみや悲しみの中で念仏の教えに触れたり、あるいは、人が人として生きていくことの事実感動したりした人たちが、様々な表現をとおして叫んでおられる、問いかけてくださっている、それを聞くところに真宗における出世本懐の意義があるのだと思います。

（次号へつづく）

法座・行事案内予定

8月

1日〜12日 盆参り
13日〜15日 午後1時 玉蘭盆会
18日 午後1時 婦人会 真栗 義丸氏
未定日 午後1時30分 あゆみ会 列座

9月

1日 午後7時 公開学習会 畠山 明光氏
7日 午後1時 群萌の会 列座
8日 午後1時 マヤの会 列座
10日 午後1時30分 公開講演会 蒲池 勢至氏

10月

1日 午後1時 公開学習会
3日〜4日 婦人会一泊研修会 畠山 明光氏
7日 午後1時 群萌の会 列座
8日 午後1時 マヤの会 列座
13日 午後1時 初心の集い 列座
16日 午後1時 同朋の会 列座
18日 午前10時 婦人会報恩講 輪番
21日 午後7時 壮年の集い 列座
21日〜23日 午後1時 秋季彼岸会 寺林 彰則氏
未定日 午後1時30分 あゆみ会 列座

11月

1〜5日 旭川別院報恩講
1日 速夜〜3日 日中
3日 速夜〜5日 御満座 中野 誠二氏
延塚 知道氏
7日 午後1時 群萌の会 列座
8日 午後1時 マヤの会 列座
16日 午後1時 同朋の会 列座
18日 午後1時 婦人会 輪番
20日 午後7時 壮年の集い 列座
未定日 午後1時30分 あゆみ会 列座



輪番感話 ⑬

今年春頃より体調が変化し、総合病院にて検査を受けた結果、癌の腫瘍が見つかり摘出手術を受けた。今や日本人の二人に一人は、癌に冒されるとはいえ、自身の不養生を悔いて、すぐには納得できるものではなかった。

「あとどのくらい生きられるのであろうか？」そう思うと、急に妻や家族のことが愛（いと）おしく感じられるのである。

今まで大病など患ったことも無く、健康であったことが、いかに自信過剰であったことか。病気を患って初めて、そのことに気づかされ、今生きてあることの不思議さ、健康であることの素晴らしさを今さらながら痛感させられたことである。

思えば自分中心に生きてきた六十七年間の歩みは、親を食いものにし、妻を食いものにし、子供さえも食い物にしてきたのではなかったのか。それだけでは無い、全てのこと到我が力とふりか

ざし、利用して生きてきたのである。

更にそれは今まで自分がいかに「生老病死するいのち」の存在を見失って生きてきたのかというところが、癌という病気の事実によつて教えられたことである。

これまでどれほど親に心配をかけ、家族に迷惑をかけ、更に多くの出会いを疎かにしてきたことか。その自分がいかに支えられて今日まで生きてきたことか。本当に申し訳ないことである。

体重も十五kg以上減少し、皺だらけの顔を鏡で見るのも嫌なほど随分老けた老人となったが、それらのことに気づかされても、尚、頭の下がらぬ自分である。なんともお粗末なことである。

『仏法は精神論ではない。存在論です。存在の持つ意義に目覚めることです。』(池田勇諦先生)

旭川別院 輪番 太田 法生

2025年度より

納骨堂管理費を変更します

当院納骨堂は今年で竣工十九年を迎えます。二〇二三年には、外壁及び屋上の補修及び塗装工事を行ない、皆様のおかけをもちまして美しい外観となりました。

しかしながら、ご承知の通り近年の物価高騰及び電気料金の値上げ、また二〇二七年末をもって直管の蛍光灯の製造と輸出入禁止に伴い、当院納骨堂のLED化に向けた対策及びその他設備等の補修工事の課題を抱えております。当院といたしましても、納骨堂の見回りや節電等の対策を講じておりましたが、いよいよ現在の管理費での維持が困難になりつつあります。前述する理由により、やむなく左記の通り管理費を変更するに至りました。

日頃より納骨堂にお参りされる皆様におかれましては、ご負担をお掛け致しますが、何卒ご理解下さいますようお願い申し上げます。

納骨堂管理費の変更内容

適用年度 二〇二五年度分より

管理費 年間三、〇〇〇円→年間五、〇〇〇円

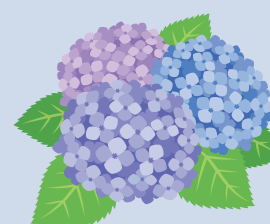
※右記は二〇二四年三月十一日に開催された責任役員会及び院議会にて決定
※二〇二五年度中に納骨堂施設内のLED化工事を予定しております。(各納骨壇の輪灯を除く)

秋季彼岸会

令和六年九月二十一日(土)〜二十三日(月)

亡き人からいただいた尊いご縁に出あう大切な行事
彼岸とは、覚りの世界「浄土」という意味です。古来より日本では、春秋の太陽が真東から真西に沈むすがたを見て浄土を想うという中国からの伝統を受け継ぎ「彼岸会(ひがんえ)」という仏教行事を営んできました。

亡き人を偲ぶ事を通して、亡き人と出遇いなおし、そして自分自身の帰すべきところを定めよと呼びかけておられます。



午後1時より本堂にてお経が勤まり法話がございます。
講師 九組 教心寺 寺林 彰則氏

盂蘭盆会

お盆とは『仏説盂蘭盆経』というお経に起源があります。

お釈迦様の御弟子に目連尊者というお方がおられます。目連は神通力第一といわれ、そのお力で三世を觀ますと亡き母親が餓鬼道に落ちていたということがわかりました。悲しんだ目連はお釈迦様に「どうしたら、母を救うことができましようか」と、お釈迦様にお尋ねしました。その時にお釈迦様は「この七月十五日に、飯、百味、五果などの珍味を、十方の大徳、衆僧に布施しなさい。」と言われました。目連がお釈迦様の仰せに従ったところ、母はたちどころに餓鬼道から天上界に浮かぶことが出来たと伝えられております。

八月十三日(火)初盆者追弔会
八月十四日(水)盂蘭盆会
八月十五日(木)前戦没追弔会

午後一時より本堂にてお経が勤まり法話がございます。

講師 第十二組 恵嶺寺 真栗 義丸氏

演題

南無阿弥陀仏

人と生まれたことの意味をたずねていこう

令和6年 公開講演会ご案内

日時 九月十日(火)十三時三十分〜十五時三十分
会場 大谷ホールにて

講師に名古屋市、長善寺前住職・蒲池 勢至氏をお迎えし講演会が勤まります。皆様のご聴聞、お待ちしております。

大谷婦人会報恩講の御案内

九月十八日(水)十時より
お勤め・ビデオ上映・法話(太田輪番)
*お斎(昼食)をいただいて解散 *志納金 二千元
*申し込み方法 九月十日迄に別院の大野・井畑迄連絡下さい。

大谷婦人会一泊研修旅行の御案内

十月三日(木)・四日(金)
行き先 層雲閣グランドホテル
集合時間・場所 十三時 旭川別院 集合後、法話三十分
会費 八千円
申し込み方法 九月十八日の報恩講迄に大野・井畑迄連絡下さい。
*詳細は九月十八日の報恩講にお知らせします。
*別院門徒の女性の方は全員婦人会ですのでは是非お待ちしています。

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百周年慶讃法要並びに現如上人百回忌法要に参詣して

五月二十五日大谷暢裕門首、大谷サチカ会長ご臨席のもと法要が勤められました。札幌別院本堂、三百余人の正信偈は圧巻でした。旭川別院婦人会からも二十名がご縁を頂きました。お勤めが始まる前に北海道連合会委員長による「大会宣言」がありました。大谷婦人会のサブテーマである「とどけようナンマンダム」のもと差別のない自由と平等の世界を願うことを宣言されました。大谷大学学長一栗真先生の講演があり、「人はどのように亡くなるかが問題ではなく又念仏とは自分が行うのではなく、ひとえに阿弥陀仏のはたらきかけによつて発せられる」とおっしゃった言葉が耳に残っています。祝賀会での門首ご夫妻とのジャンケン大会も思い出となりました。長い一日が終わりました。分刻みのスケジュール教務所の皆様本堂にお疲れさまでした。最後に江別別院の皆様手作りのきなこ棒全員に振舞つて下さり有難うございました。
(田中・藪越・島崎・屋敷)



札幌別院本堂

旭川別院交流企画
(事務所窓口九時〜十六時)

■境内清掃&BBQ交流会

○日時 八月十九日(月)十時〜十三時半
境内清掃 十時〜十一時半くらい
BBQ交流会 十一時半〜十三時半くらい

○参加費 無料!途中退出自由・持ち物は何もいりませ
ん♪申込だけお願いします★

○申込方法 電話、又は事務所窓口(〇一六六―二二―
二四〇九)担当 横井

■パークゴルフ大会 (雨模様の場合は大谷ホールにてレク交流会)

○日時 九月二十五日(水)十三時現地集合
旭川別院ご門徒

○対象 旭川別院ご門徒

○参加費 お一人五〇〇円(当日集めます)

○会場 神楽パークゴルフ場(神楽六条一丁目〜三丁
目両神橋下流右岸広場)

○時間 十三時〜受付・十三時十分〜開会式、組分
け・十三時三十分〜競技開始

○申込方法 電話、又は事務所窓口(〇一六六―二二―
二四〇九)担当 横井

○最新情報 別院ホームページにて確認して下さい。

お華束

打敷

別院子ども会

今年のいちご狩りは、大型バスで別院を出発し、参加者と甘酸っぱいイチゴを心ゆくまで味わいました。
その後は、みんなでカレーをいただきました。お腹いっぱいになった後は、笑顔いっぱい、楽しい時間を過ごしました。
いちご狩りの他にも、お泊り会なども開催しております。
お寺ならではの体験を通して、お子さまの健やかな成長と、豊かな心の育成を願い、様々な企画をご用意しております。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。
ご案内をご希望の方は、お気軽にお寺までお問い合わせください。
TEL 22-2409(担当:川村・水上)

法
あ
れ
れ

仏
こ
れ
れ

身近な仏事Q&A

Q、年忌のご法事を勤めるにあたり、用意するものはありますか？
A、打敷(うちしき)・お華束(おけそく)・白餅・左右一対・赤色のろうそくをご用意願います。また、法名軸をお内仏(お仏壇)の側面におかけします。お
Q、ご法事とはどういうことなのでしょう？
A、ご法事についてご先達に尋ねますと、「讃嘆供養さんだんくよう」であることが了解されます。讃嘆供養とは「仏様の教えを讃めたたえ、敬い尊び、自身の頭が下がる」ことであり、一人
Q、ご法事とはどういうことなのでしょう？
A、ご法事についてご先達に尋ねますと、「讃嘆供養さんだんくよう」であることが了解されます。讃嘆供養とは「仏様の教えを讃めたたえ、敬い尊び、自身の頭が下がる」ことであり、一人
一人が仏様の教えにお会いするといふことなのでしょう。
あるご門徒さんがご命日のお参りの時に「毎日お仏壇に向かって手を合せて、おはよう・おやすみと話しかけるんだよ、返事はないけどね」と微笑んで言われました。私にはご門徒さんが亡き方と「対話」をしているように感じました。
仏様に向かい手を合わせ、亡き方に「おはよう・おやすみ」と話しかける中に、「当たり前」ということはなかった「おかげさま」と頭が下がる、これが仏様の教えにお会いするということではないでしょうか。教えとの出会いには「支えられ、呼びかけられ続けている」という事実の領きがあり、「対話」があるのです。そして、このことを今一度確認させていただく場がご法事として開かれているのでしよう。
(水上)

2023年経常会計決算並びに2024年度予算

<2023年度決算>

2023年度歳入決算	
法務収入	¥87,539,700
法要収入	¥6,163,650
諸懇志	¥56,878,419
資産収入	¥404
回付受金	¥463,510
還付金	¥733,743
雑収入	¥393,654
繰越金	¥30,914,040
合計	¥183,087,120

2023年度 旭川別院 経常部 決算 歳入の部 計 ¥183,087,120

法務収入 48%

法要収入 3%

諸懇志 31%

資産収入 0%

回付受金 0%

還付金 0%

雑収入 0%

繰越金 17%

2023年度歳出決算	
寺務費	¥15,876,018
維持管理費	¥4,534,148
運営費	¥131,829,060
積立金	¥4,000,000
予備費	¥205,370
合計	¥156,444,596

2023年度 旭川別院 経常部 決算 歳出の部 計 ¥156,444,596

寺務費 10%

維持管理費 3%

運営費 84%

積立金 0%

予備費 0%

<2024年度予算>

2024年度歳入予算	
法務収入	¥85,450,000
法要収入	¥7,570,000
諸懇志	¥55,150,000
資産収入	¥1,000
回付受金	¥479,000
還付金	¥750,000
雑収入	¥300,000
繰越金	¥27,000,000
合計	¥176,700,000

2024年度 旭川別院 経常部 予算 歳入の部 計 ¥176,700,000

法務収入 49%

法要収入 4%

諸懇志 31%

資産収入 0%

回付受金 0%

還付金 0%

雑収入 0%

繰越金 15%

2024年度歳出予算	
寺務費	¥17,620,000
維持管理費	¥4,960,000
運営費	¥128,220,000
負担金	¥14,400,000
回付金	¥6,500,000
予備費	¥5,000,000
合計	¥176,700,000

2024年度 旭川別院 経常部 予算 歳出の部 計 ¥176,700,000

寺務費 10%

維持管理費 3%

運営費 72%

負担金 8%

回付金 4%

予備費 3%

救援金のお願い 宗派では、このたびの「令和6年能登半島地震」に対する救援金を勧募しています。皆様からの温かいご支援をお願い申し上げます。▶▶▶

幼稚園型認定こども園 旭川別院附属 大谷さくら幼稚園

旭川別院附属大谷さくら幼稚園便り

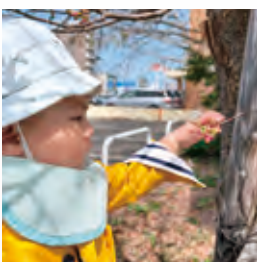
二〇二四年度が始まりました。大きなまくらを作った園庭。沢山積もっていた雪が、春になると溶けて、緑が芽吹き、桜やタンポポが咲きました。この頃は水に触れるのが心地良い夏の季節を感じます。四月に入園した子ども達、進級して環境が変わった子ども達、それぞれ一人一人が自分のペースで安心して過ごしています。

季節を感じる

※冬の名残・雪解け



春のおとずれ



桜の花を見つけました☆



こぶしの花が満開に☆



巨大なしゃぼん玉！



花びらを浮かべ、『花の足湯』



泡の実験「ブクブク〜！」



食育

★畑

畑で作った食べたい野菜を、話し合ってから決めました。図鑑で調べて、畑作りが始まりました。胡瓜、南瓜、さつまいも、じゃがいも、人参、大根、トマト、小松菜等、色々な野菜を育てています！



畑を耕して肥料をまきます。



採れ立てきゅうり、パクッ！



「トマトの匂い♡」

★農家さんとの交流

畑で野菜を育てたいけど、「どうしたら美味しい野菜ができるかな？」と話合っただけで「農家さんに聞いてみよう！」となり、本物の農家さんを訪問しました。



「美味しい人参はどうしたらつくれますか？」



小松菜の栽培見学



こどもの日の「こいのぼりランチ」

スペインランチで美味しかったチュロス調理さんに教えてもらって作りました。



★お楽しみ給食
世界のごはんランチで、台湾、中国、スペインの料理をいただきました。

★2歳児つぎ組と5歳児きりん組の触れあい

うさぎ組が大谷の杜で遊んでいると、線路の方から「おーいーだれかいー？」というきりん組の声が聞こえてきました。裏から幼稚園が見えると知って、行きたい！とつぎ組、きりん組と一緒にきました。



靴を履くの、手伝ってくれました。



★水について考える

水道の蛇口をひねると出てくる水。水はここから来るのかな？という話し合いで、浄水場という所があることを知りました。行って、水がどうやって作られるのか知りたい！となり、忠別川浄水場に行ってきました。沢山の事を学んできました。



ご門徒の声

あたり



門徒
荒井知可子

私が別院にご縁を頂きましたのは、昭和三十五年荒井に嫁ぎ、毎月三回月命日に正信偈を頂き、お彼岸、お盆にお寺にお参りをする様になつてからです。主人の祖母や母が熱心にお寺参りをしているのを見て、子供たちも大きくなり手が離れ、子供たちも大きくなり手が離れた頃、昭和五十六年当時、婦人会の会長をしていました母から、菊池御輪番が作られたマヤの会に入会させてもらうようにと言われたのがきっかけでした。

それから四十数年、牛の歩みのようですが聞法の日々を送らせていただいております。数年前に水島見一先生の「あたり」と言うご本を頂き、拝読させていただきました。それ以来「あたり」という言葉が頭から離れなくなりました。

これまでの人生で、自分にとって良きにつけ悪きにつけ全て「あたり」だったのかなと思う、今日この頃です。「あたり」は寿命はわかりませんが、残っている時間を聞法に「あたり」に導かれて、静かな余生を送らせて頂けたらと思います。直ぐに自分にとって都合のいい方を選ぶ自分があります。

うどんダ

六月の初旬、八十六歳の叔父が孫さんと一緒にふるさとの私の実家を訪れた。叔父は、学校を卒業し埼玉県に就職し家庭を築かれた。その間、息子さんの急死、退職後は奥さんの病気のお世話をしたが、残念ながら亡くなられた。その後はご自身が大病を患われたが、体調も回復し今回の帰郷となった。

まずは、本堂で息子さん・奥さんのお参りをされた。お経が勤まる中、悲しみを通しての叔父の姿は、何時この生を終えてもおかしくない私に、多くのご縁をいただけて生かされているお参りにも見えた。本来の私は、無量のご縁が私とまなつて今ある事を知らされる。その晩、叔父達を囲んで皆で会食した。実家のまわりの景色は変わったが、懐かしい思い出は時間を忘れて談笑した。家族との死別もあり、晩年の人生からの故郷の想いは、今まで叔父を励まし支えてくれたことが何よりも何われた。

親鸞聖人は善導大師のお言葉を引用して「仏に従って本家に帰せよ」と示される。本家とは、いつでも待つて迎え取る仏の世界、浄土の事である。それを金子大榮先生は「いのちのふるさと」と私たちの情に沿って優しく言われた。今、叔父の帰郷はいのちのふるさとと浄土を想い感じるののである。叔父の帰郷日は快晴だった。お寺の正面にそびえる普賢岳は、昔も今も変わらないこと、そのことを教えてくれているかのようであった。

(大野)

真宗大谷派 旭川別院

歴史ある本来の姿での儀式

旭川別院を会場とした葬儀が執り行えるよう準備を致しました。亡き故人とのお別れを告げるだけの告別式ではなく、故人との繋がりを大切に、仏教本来の儀式に基づいたご葬儀です。どうぞご利用下さい。



大谷ホールは、大きな会場で設備も豊富に備わっております。小規模でなくとも野卓でお葬式をされたい方は是非ご利用ください。



使用料 (祭壇・会場費込)

●各広間 100,000円 (税込)

●大谷ホール 150,000円 (税込)

※詳細は別院迄 TEL 0166-22-2409